

3月1日～
暮らしを彩るアイヌの手仕事II～伝統と実用～
HiromiさんKeikoさんによる二人展



3月1日から4月30日にかけて、道の駅摩周温泉内のギャラリーでKeiko(斎藤敬子)さんとHiromi(磯里博巳)さんによる二人展が開かれました。

1年～一年半に1回作品展を開くというお二人。今回が2回目の開催です。ガラス細工や彫刻の作品をHiromiさん、刺繍作品をKeikoさんが手がけました。それぞれが繊細かつ個性的で、手仕事ならではの温かみのある作品ばかり。

Keikoさんは「エプロンなどの身近なものに伝統的な文様を取り入れたことで、訪れた方がアイヌの文化をより身近に感じるきっかけになれば」と話しました。

カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐかけつけます。お気軽にご連絡ください。



まちづくり政策課広報統計係 ☎482-2913(課直通)

3月22日
人が集まり集う南弟子屈を目指して
第5回ワーキンググループを開催



南弟子屈地域活性化協議会(小澤重則会長)の第5回ワーキンググループが3月22日、旧昭栄小学校で行われました。同協議会は「人が集まり集う 町の玄関口 南弟子屈」を目的・理念として、ライダーハウス、レンタルスペース、酪農体験ツアー、飲食の4つの事業について協議を重ねてきました。

今年度の成果と来年度の目標について各チームから報告が行われたほか、協議会規約の修正案や新しく作られる南弟子屈のPRパンフレットなどについて意見が交わされ、参加者全員が、新年度に向けて方針を共有しました。

3月16日
いざという時に備えて
泉ふれあいセンターで「防災ずきん作成講習会」



弟子屈消防団(藤田茂団長)女性部による「防災ずきん作成講習会」が3月16日、泉ふれあいセンターで行われました。講習には泉自治会女性部(山下則子部長)の皆さんが参加。同消防団女性部長の嶋崎静江さんの指導のもと、持参したバスタオルで作成しました。ずきんはしつけ糸で簡単に縫い合わせてポケットをつくり、ハンカチや軍手、使い捨てカイロなどを入れる仕組み。避難所に到着してからはしつけ糸をほどいてそのままバスタオルとして使えます。細かく縫い合わせる必要がないため、裁縫は苦手と話す方も楽しそうに作業していました。

4月1日～
精細で美しい映像が来館者に好評
川湯EMC2階で高画質映像が新たに放映



4月より、川湯エココミュニティセンターの2階に大型映像モニターが新設されました。訪日外国人旅行者の増加を目指す国立公園満喫プロジェクトの事業によるもので、阿寒摩周国立公園摩周地域の「水の循環」をテーマにした「自然編」、摩周岳登山や藻琴山バックカントリースキーなどのネイチャーツアーをメインとした「アクティビティ編」の2本が新たに放映されています。

どちらも10分程度で、言語は日本語と英語の2か国語対応。ハイビジョンより解像度の高い4K映像となっており、ダイナミックかつ、精細で美しい映像が来館者に好評です。

3月27日
ご結婚おめでとうございます！
町農業後継者結婚祝金贈呈式を挙行



弟子屈町農業後継者結婚祝金の贈呈式が、3月27日町応接室で行われました。祝金を受け取ったのは芳賀和也さん・ひとみさんご夫婦(美留和)と平岡琢磨さん・絵美さんご夫婦(川湯)。贈呈式には徳永町長、町農業委員会塩沢稔宏会長、摩周湖農協川口覚組合長が出席し、両夫婦に祝金3万円と祝品のデジタルフォトフレームがお祝いの言葉と共に贈られました。川口会長は「町の農家戸数は減少している。夫婦で農業を頑張る、後に続く人の見本になってほしい。」と両夫婦に激励の言葉を贈りました。

いつまでも元気に
第4回ふまねっと交流会、町お宝自慢発表会



ふまねっとサポーターの会一九三(代表寺岡清敏)主催の第4回ふまねっと交流会が3月30日、摩周観光文化センターで開催されました。

各地域で「ふまねっと」を行っている皆さんが一堂に会する交流会で、今年は町内9つのチームに加え、釧路町の皆さんも参加。グループに分かれて合同ステップを楽しみ、後半では、各チームが選んだ音楽に合わせて、それぞれ工夫を凝らしたステップを披露。会場が拍手と笑顔でいっぱいになりました。

交流会後には、町とCLC(全国コミュニティライフサポートセンター)が主催する「弟子屈町お宝自慢発表会」を開催。

日頃から何気なく行われている地域の身近な支え合いを「お宝」と名付け、その大切さを再確認しようとして開催されました。町内外から、総勢200人が参加し、本町生活支援コーディネーターの藤原直美さんと近所福祉クリエーターとして活躍する酒井保さんが進行役となり、数多くの身近な支え合いを紹介しました。インタビュ어의コーナーでは参加者からたくさんのおいしい報告がされました。

今回使用したパンフレットは、CLCから2千冊が寄贈されています。希望される方は福祉課地域包括支援係にお声かけください。

町の話題



町の話題

春の交通安全運動
旗の波街頭啓発



啓発品を手渡し呼びかけ



ドライバーに注意を促す

当日は自治会や関係団体などからおよそ80人が参加。参加者の皆さんは安全旗を手に沿道に並び、行き交うドライバーに交通安全を呼びかけました。また、文化センター駐車帯へ数台を誘導し、弟子屈警察署や町女性ドライバーズクラブの皆さんがドライバーに直接声をかけ、交通安全を呼びかけるパンフレットや啓発品を手渡しました。

町交通安全運動推進協議会(徳永哲雄会長)と町交通安全協会(村岡幸雄会長)の共催による旗の波街頭啓発が4月10日、摩周観光文化センター前の国道391号線で行われました。

4月6日～15日にかけて実施された春の全国交通安全運動に合わせて行われたもので、本町では毎年行われています。開催にあたり、町交通安全運動推進協議会の徳永哲雄会長は「1000日を超える交通死亡事故ゼロを目指したい。新入学生の通学も始まったので、交通安全運動にご協力いただきたい」とあいさつしました。

冷たい風が吹くなか多くの参加者が



冷たい風が吹くなか多くの参加者が